

科目名	回復促進援助技術Ⅱ				
担当講師名	今松 裕子	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	竹花 諒	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	酒井 敏彰	所属・役職	二戸病院 救急医療科長	資格・免許	医師
担当講師名	小笠原 春美	所属・役職	二戸病院 主任看護師	資格・免許	認定看護師
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年後期
講義の概要	さまざまな健康状態にある対象の診療に伴う知識、技術を学び、回復を促進するための基本的看護技術を理論的裏づけに基づいて実践できる能力を養う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法の目的・意義を理解し、安全で適切な与薬を行うための方法を習得できる。 ・創傷管理・創傷処置の方法を理解できる。 ・侵襲的処置の方法と留意点を理解できる。 ・救命救急処置の意義を理解し、心肺蘇生の方法を習得できる。 				
講義回数	講義内容				
1～3	1. 与薬の技術 1) 与薬の基礎知識：与薬における看護師の役割 薬物療法の基礎 2) 与薬の方法と効果の観察			教員	講義
7～10	3) 与薬の実際 ①経口与薬、直腸内与薬 ②経皮・外用薬 ③皮下注射、筋肉注射 ④静脈内注射 ⑤自動輸液ポンプ、輸血 *注射器や針の構造は回復促進援助技術Ⅰの前に教授 *回復促進援助技術Ⅰ採血演習後に注射の演習			教員	講義・演習
11・12	2. 創傷管理技術 1) 創傷管理の基礎知識 2) 創傷処置 *褥瘡は地域・在宅看護論Ⅱで教授			認定看護師	講義・演習
13・14	3) 包帯法、止血法 3. 侵襲的処置の介助技術 1) 穿刺の介助：胸腔、腹腔、腰椎、骨髄など 2) 検査時の注意点			教員	講義・演習
15	4. 救命救急処置 1) 一次救命処置 2) 心肺蘇生法 *対象、方法、観察点について			救急医療科長	講義・演習
教科書等	「基礎看護技術Ⅱ」 医学書院 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題レポート、筆記試験等により総合的に評価する				
履修上の留意点	解剖学、生理学、薬理学、共通看護技術、回復促進援助技術Ⅰ（診療に伴う看護技術）を予習・復習し、授業に臨んでください。				
特記事項					

